

Mado 窓



救命救急・災害医療センター教授就任及び今後の抱負について

北里大学病院
救命救急・災害医療センター 浅利 靖

平成26年3月1日付で北里大学病院救命救急・災害医療センター長に就任しました浅利靖と申します。今後、地域の皆様方と深く連携していきたいと思っておりますので一言ご挨拶させていただきます。

1986年に北里大学医学部を卒業し、その後、1年間の北信総合病院（長野県中野市）外科勤務と2年間の薬理学教室での研究生生活以外の15年間、北里大学病院の救命救急センターで救急医として勤務してきました。1995年の阪神大震災では発災翌日に大学病院からの派遣で被災地に入る機会を得て、災害医療も救急医の仕事と学びました。2004年2月、青森県の弘前大学医学部救急・災害医学講座の初代教授に採用され、救急・災害医学講座の立ち上げ、高度救命救急センターの設立、また、青森県には原子力関連施設が多くあり緊急被ばく医療の備えをしていたため、2011年の東京電力福島原子力発電所事故では福島県庁や原発から20kmのJヴィレッジで医療支援を行いました。そして、本年1月末に10年間勤務した弘前大学を退職し、母校北里大学に戻ってまいりました。

4月27日、救命救急・災害医療センター（以下救命センターとします）は新病院へ引越し、新しい病院での救命救急医療が始まりました。ここで少し新病院の救命センターを御案内致します。救命センターの外来部門は病院正面入って一番奥で、新病院の西側に救急車の入口があり、手術室のような設備の救急処置室3室、CT室、レントゲン室、血管造影室が配置されています。また、入口扉を別にするwalk in用の救急外来も併設されていて、診察室9室、観察ベッド4床があります。病棟は4階で、熱傷室を含めた救急集中治療室（EICU）が20床と4人部屋4室、個室2室の救急病棟があり、救命センターとして38床を運用しています。また、ドク

ターカー2台と屋上には夜間照明装置付きのヘリポート（機体全備重量11トンまで）が設置されています。大規模災害時にも危機対応の拠点として機能することができる設備・機能を備えています。

さて、今後の豊富ですが、まず、mottoは、「active and aggressive」です。救急医たるもの常に前向きで、僅かな可能性でもチャレンジし全力で救命医療に当たるべきだと考えています。大学病院の使命である人材育成でも、最悪の事態に最善を尽くせる研修医教育とドクターカーでの現場出勤や災害救援活動、積極的なヘリコプターの受け入れなど、受身ではなく自らの判断で必要なことを行う専門医教育を実践し地域社会に貢献できる救急医を育成したいと考えています。診療では地域の医療機関と深く連携して救命救急医療の最後の砦としての役割を果たして行きたいと考えています。依頼を受けた重症患者さんは全例、必ず受けることを目標にしたいのですが、そのためには常に空ベッドの確保が必要となります。空ベッド確保のためには、病状が安定したら治療の途中であっても地域の医療機関にバトンタッチしたり、さほど重症でない患者さんは地域の先生方にお任せしなければなりません。地域の医療機関との連携なくして救命センターは成り立ちません。また、昨年10月に救命救急センターは救命救急・災害医療センターと名称が変更されました。これは相模原市が被災地となる大規模災害時にも中核医療機関としての責務を担うということです。

今後、救急医療の最後の砦として、皆様のご期待に沿えるように努力していきますので、皆様、どうぞよろしくお願い致します。

（あさり やすし：救命救急医学 教授）

相模原町田地区介護医療圏インフラ整備 コンソーシアムでの居宅療養管理指導 (管理栄養士) の取り組みについて

北里大学東病院
栄養部 中嶋としみ



コンソーシアムでは、居宅栄養ワーキンググループを立上げ、管理栄養士の居宅療養管理指導體制と居宅療養者へのサービスの質的向上を目的に活動をスタートさせました。

介護保険の「居宅療養管理指導」とは

通院困難な要介護者の自宅を訪問して、療養上の管理及び指導を行うもので、サービス内容に応じて医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士等が担当します。担当する管理栄養士は居宅療養管理指導事業所に所属（常勤・非常勤）している必要があります。

管理栄養士が担当する居宅療養管理指導の対象

医師が当該利用者に厚生労働大臣が定める特別食を提供する必要性を認めた場合又は当該利用者が低栄養状態にあると医師が判断した場合です。

管理栄養士が担当する居宅療養管理指導の実態と課題

管理栄養士が介入することで、客観的栄養評価に基づいた栄養食事指導を実施できます。そうすることで、居宅療養者やご家族の食事に対する悩み解消のお手伝いができると考えています。しかし、厚生労働省介護給付費実態調査（平成24年度4月）によると、介護保険総受給者363,262人のうち管理栄養士の居宅療養管理指導受給者は1,759人（0.5%）と低い取得率であり、当医療圏においても同様な状況にあります。今後の課題としては①医療従事者・介護従事者へシステムの認知度を高め管理栄養士の介入効果を明らかにする②居宅療養管理指導に従事できる管理栄養士の育成が必須であります。

居宅栄養ワーキンググループ活動の現状

居宅療養管理指導に必要な書類の整備が終わり、今後は介護職との連携や勉強会、症例検討会を通して管理栄養士介入のメリット等を周知していくと同時に、居宅療養管理指導を行う管理栄養士との連携も行っていく予定です。

居宅療養管理指導に関心のある管理栄養士やその他の職種のみなさん、一緒に活動しませんか。7月には「食事と栄養」をテーマに研修会を開催したいと現在企画中です。

コンソーシアムに関する問い合わせ

北里大学病院 トータルサポートセンター事務局
TEL 042-778-8438 又は 9988

(なかしま としみ：北里大学東病院 栄養部 科長)

参考文献

『居宅療養管理指導のあり方に関する調査研究事業』居宅高齢者の栄養ケア・マネジメントのための居宅療養管理指導の実態把握とその体制に関する研究報告書（日本健康・栄養システム学会 委員長 小山秀夫 平成25年3月）

職場紹介と新病院における 取り組みについて



北里大学病院
薬剤部 友田 吉則

医療は高度かつ複雑化してきており、専門的な知識・技能が要求されています。薬剤部ではそれぞれの分野に担当を配置し、その要求に応じています。

調剤、DI・薬剤管理、病棟、がん診療支援、製剤・試験といった部署に分かれて、62名の薬剤師が力を発揮しています。さらに、臨床試験センターに4名、医療の質・安全推進室と感染管理室にそれぞれ1名ずつの薬剤師を配置しています。また、薬学部教員が同施設内に6名おり、連携しながら薬剤師レジデントや学生実習を受け入れています。

調剤課は、医師の処方せんにもとづき、入院・外来患者さんの内服薬等を調剤する他にも、外来与薬窓口やお薬相談コーナーにおける服薬指導も実施しています。DI・薬剤管理課は、医薬品情報の管理および提供、問い合わせ対応、医薬品採用に関わる事務局、医薬品の在庫管理等の機能を担っています。病棟担当薬剤師は、病棟において、持参薬の確認やベッドサイドにおける服薬指導、薬学的観点から医師や看護師等とディスカッションを行いチーム医療に貢献しています。がん診療支援課では、抗がん剤の無菌調製の他、治療計画（レジメン）の管理、通院治療患者さんへの指導を行っています。製剤・試験課では、市販されていない医薬品の調製、無菌操作が必要な中心静脈栄養等の調製に加え、試薬の調製、一部の医薬品の血中濃度測定、医薬品の安定性データの調査等を行っています。

新病院では、新たに、トータルサポートセンターにおける入院支援の一環として、薬剤師による入院前（外来時）面談業務を開始しました。医師から依頼があった患者さんに対して、入院後に予定されている手術や処置に影響する可能性のある抗凝固薬や

健康食品等の服用状況を事前に把握し、必要に応じて休薬を指導しています。特に、健康食品等は気軽に摂取されており、手術や処置に影響を与える可能性があります。限られた診察時間の中、後発品も含めてこれらの薬剤等を医師が確実にチェックすることは困難ですが、薬剤師が関与することで、入院前に適切な期間の休薬を確実に行うことができ、その結果、患者さんは万全の態勢で治療に臨むことができます。この他、初めて抗がん剤治療を受ける患者さんに対しても、あらかじめ治療に関する一般的な注意事項や副作用などに関する説明を行うことで、少しでも安心して治療に臨めるようサポートを行っています。

現在はそれぞれ一部の診療科のみ対応を行っていますが、今後、対象とする診療科を拡大し、患者さんにとって薬剤師がより身近な立場になれるよう支援していきたいと思っています。

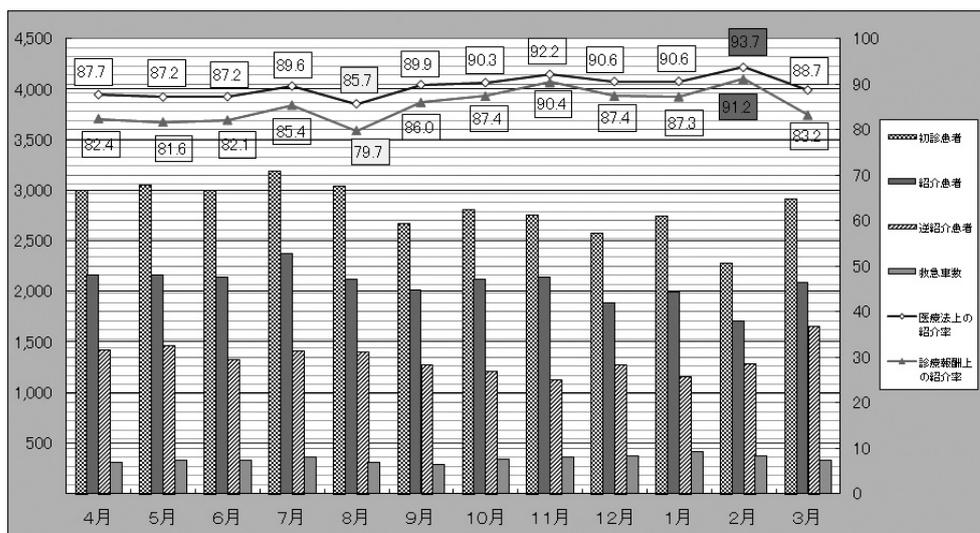
（ともだ よしのり：薬剤部）

平成25年度患者紹介率について

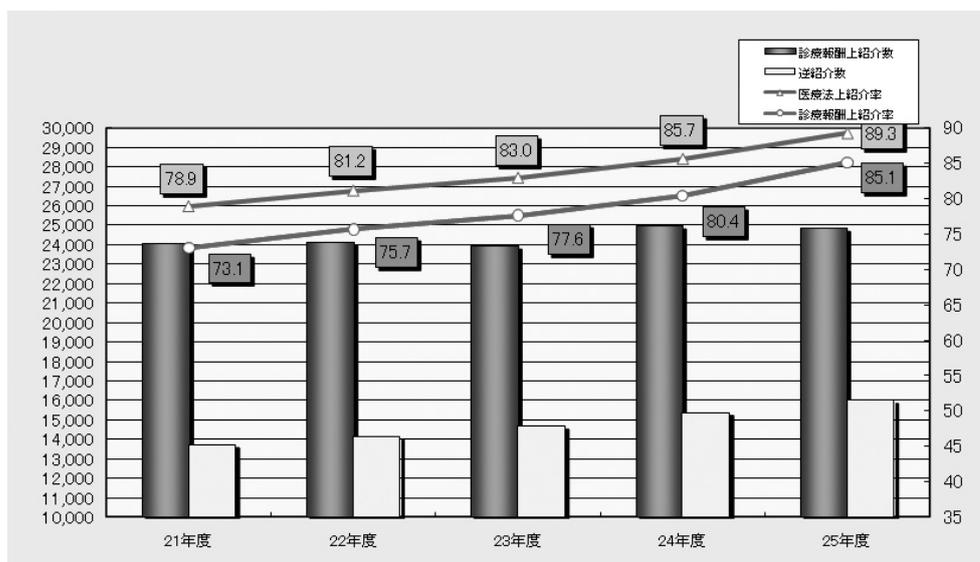
北里大学病院 トータルサポートセンター

平成25年度の患者紹介率は、年度平均で医療法上89.3%（昨年85.7%）、診療報酬上85.1%（昨年80.4%）になりました。前年度は、全体的には各医療機関をはじめ近隣の医師会・地区病院協会の皆様方のご協力が高い紹介率の維持ができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

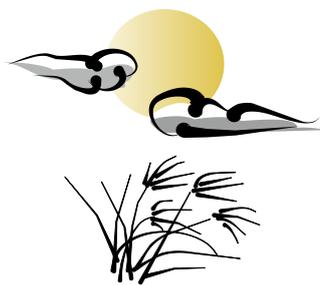
新病院が5月7日（水）オープンいたしました。入院前・退院サポートのスタッフも人員増がされ、トライアルから実施に向けた取り組みを開始しています。今年度も地域医療の発展に取り組む所存です、引き続き皆様方のご協力をお願い申し上げます。



25年度度紹介率月別推移



年度別紹介率/逆紹介数推移



〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
 北里大学病院 トータルサポートセンター
 TEL 042-778-9988 FAX 042-778-9599
<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/>
 E-mail / shoukaiw@kitasato-u.ac.jp